

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

事務事業名		第74回国民体育大会に向けた開催準備事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020404000967
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助	所属課	010201
政	総合計画の施策名	0204	生涯スポーツ活動の振興			主要事業			企画課
策	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり			市長マニフェスト		グループ	統計・国体推進G
体	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興			未来PJ事業			
系	手段名	04	④スポーツの魅力発信と交流の推進			合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	08	07	00	国体開催事業		
法令根拠	スポーツ基本法第26条					期間限定複数年 (平成23 年度～ 令和元 年度) ➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 2019年に第74回国民体育大会が、昭和49年(1974年)の第29回大会「水と緑のまごころ国体」から45年ぶりに茨城県開催でされる。 国民体育大会は、スポーツの普及や競技力向上を図るとともに、人々との交流による地域の活性化や地域文化の推進など、活力ある社会形成への契機となる。 大会愛称：いきいき茨城ゆめ国体 大会スローガン：翔べ 羽ばたけ そして未来へ 会期：2019年9月28日（土）～10月8日（火） 桜川市開催競技：ライフル射撃（CP以外） 会期：2019年10月4日（金）～7日（月）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ○会場地市町村実行委員会の設置…国体開催に向け、実行委員会設立、総会・常任委員会・専門委員会の開催及び運営 ○競技会開催に向けた準備…大会役員・競技役員の編成、競技用具・消耗品整備計画、選手・役員等来会調査及び宿泊・輸送計画等 ○広報啓発活動…PRイベント開催（炬火イベント・〇〇日前イベント）や県民運動（花いっぱい運動・応援のぼり旗製作）の実施、開催に関する情報を発信して「いきいき茨城ゆめ国体」の開催機運醸成を図る
----	--	--

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	29年度 （実績）	30年度 （実績）	01年度 （計画）	02年度 （目標）	03年度 （目標）
- 市実行委員会の開催及び運営 - 国体開催に向けた各種調査 - 会場地選手強化支援事業の実施	実行委員会・常任委員会・専門委員会の実施状況	回	10.00	4.00	2.00	0.00	0.00
	会場地選手強化支援事業の実施状況	回	3.00	3.00	1.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	29年度 （実績）	30年度 （実績）	01年度 （計画）	02年度 （目標）	03年度 （目標）
- 市民（一般市民） - 市民（中学3年生～高校3年生） - 地域のスポーツクラブ及び競技団体	体育協会加盟団体	団体	31.00	30.00	30.00	0.00	0.00
	茨城国体時（中学校3年生～高校3年生）	人	1,526.00	1,495.00	1,465.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	29年度 （実績）	30年度 （実績）	01年度 （計画）	02年度 （目標）	03年度 （目標）
- 市実行委員会を設置し、国体開催にむけた検討・準備をする - 茨城国体へ向け、会場地としての気運を盛り上げ、地域に根ざした競技力の向上をめざす	国体実行委員会・常任委員会・専門委員会の協力団体	団体	37.00	36.00	36.00	0.00	0.00
	会場地選手強化支援事業の参加人数	人	341.00	385.00	200.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				29年度	30年度	01年度			期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	17,039	35,500		52,539
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	5,000	0		5,000
			一般財源	千円	30,861	43,739	48,004		129,976
			事業費計（A）	千円	30,861	65,778	83,504		187,515
			正規職員従事人数	人	2.00人	4.00人	6.00人		

事業費の内訳	30年度事業費 実績 (千円)			01年度事業費 予算 (千円)		
	09 旅費	689		01 報酬	2,163	
	11 需用費	2,246		09 旅費	86	
	13 委託料	28,894		19 負担金補助及び交付金	81,255	
	15 工事請負費	1,480				
	18 備品購入費	1,915				
	19 負担金補助及び交付金	30,554				
			合 計	65,778		合 計

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容

02年度の事業内容

03年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	第74回国民体育大会に向けた開催準備事業	事務事業No.	20404000967	所属課	企画課
-------	----------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
平成23年3月の定例県議会において知事が国体誘致を表明し、「平成31年第74回国民体育大会」の誘致を決議された。平成24年11月に桜川市長・桜川体育協会長が茨城県知事に「ライフル射撃競技の桜川市開催の要望書」を提出し、平成25年2月にライフル射撃（CP以外）競技の会場地として選定を受ける。平成28年7月20日の日本体協協理理事会において、茨城県が第74回国民体育大会の開催地として正式に決定された。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
・競技団体から、国体開催に合わせて競技会場周辺のインフラ整備や競技用具整備の要望があった。 ・市内スポーツ団体から、チームライフル射撃体験教室の開催協力要請があった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	国体の開催は競技スポーツの振興ではなく、国のスポーツ大会として多くの競技者・大会関係者及び観覧者が本市に訪れるなど、スポーツを軸としてたくさんの人達が集まる事業になりえる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	国民体育大会開催基準要項に、各競技については会場地市町村が主催として定められている。旧真壁町では前回の国体開催を契機に、地域のシンボルスポーツとして根付き、ライフル射撃の振興を支援し、多くの優れた選手・指導者を輩出してきた。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	国体開催に向けて広報啓発活動を行うことにより、開催気運が高まり、国体を通じて競技スポーツの振興や競技力向上が図れる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	平成28年7月に日本体育協理理事会で茨城国体の開催が決定されており、桜川市がライフル射撃（CP以外）競技の会場地として既に決定を受けている。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	国民体育大会はスポーツ基本法第26条に基づく事業のため、類似事業や統廃合の可能性はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	国体が開催された先催自治体の実施例を参考に、関係団体の協力を進めていく。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	桜川市で開催する競技に対する必要な負担であり、受益者負担を求める事業ではない。
公平性		

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																												
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	国体改革2003に基づき、大会運営の簡素化・効率化により、平成20年第63回大会から大会規模の適正化により参加総数の15%程度の削減。競技会開始式の廃止（平成16年第59回大会から）を行っている。																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																												
□ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 ■ 現状維持 <table border="1"> <tr> <td>□ 目的の再設定</td> <td>□ 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td>□ 有効性の改善</td> <td>□ 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td>□ 統廃合ができる</td> <td>□ 連携ができる</td> </tr> </table>		□ 目的の再設定	□ 効率性の改善	□ 有効性の改善	□ 公平性の改善	□ 統廃合ができる	□ 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
□ 目的の再設定	□ 効率性の改善																													
□ 有効性の改善	□ 公平性の改善																													
□ 統廃合ができる	□ 連携ができる																													
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持		○	×																										
	低下		×	×																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																												
		成果優先度評価結果 ⑥ コスト削減優先度評価結果																												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 A: 継続（現状維持） C: 終了、廃止、休止 B: 継続（改革改善を行う） D: 2次評価へ提出	確認欄